

お元気ですか

つかじさちの

フレッシュ便

第1085号



日本共産党高知県議会活動報告
2024年3月24日発行
電話 088-823-9524 (議会控室)
088-843-9281 (自宅)

3月県議会 港軍事利用 強引なデジタル化 教員不足続くなど 新年度予算反対 港の軍事利用反対緊急署名 4,260 筆 「県民への説明を求める」



県は自衛隊の訓練は防災に役立つと言いますが、平時の定義が問題です。平時とは、重要影響事態や存立危機事態も含まれますが、意味は武器弾薬を輸送し部隊を展開、米軍の後方支援ができることとされています。明らかに戦争(有事)の訓練を日常から行う事を許すものです。十分な説明を

県民に十分行わないまま3月中にも高知の3港湾を軍事利用できる協定を知事は結びたいと答弁しています。港をどう使うか、許可権をもつ知事は地方自治の原点にたち国の戦争準備は拒否すべきです。

車免許証とマイナンバー一体化

県はデジタル推進を3本柱のひとつに位置づけ横断的に取り組むとしています。新年度には車の免許証とマイナンバーを統一しても利用できる様にするための機器購入予算が盛り込まれました。

高知県警は、強制するものではないとし、免許証だけの方への対応も続けると答弁しました。

教員メンタル疾患増加

教員の相談役 全県で1名

県教育委員会は、教員の病休の内、精神疾患と診断されるケースが増加していると、教員の悩みを聞くサポート員を増やすと説明しました。

配置は全県でたった1名。繰り返されるハラスメントの実態や病休状況からも本来は正規教員や少人数クラスを増やすことが必要ですが、その為の予算や人員配置が改善しているとは言えない状況です。

「港の軍事利用 県が3市に説明」

県、終始＝「メリットある」と説明
3市＝「県を尊重する」と回答

19日、県は候補にされている、高知市・須崎市・宿毛市(副市長)に対し、県としての報告、考え方を説明した。高知市は市民、議会から不安の声を聞くとしつつも「軍事利用がない」との県の説明を受け止め、県に沿うとした。

4月無料法律・生活相談会

- ▶ 4月1日(月)午後6時～ 神田駅前
 - ▶ 近藤恭典弁護士、追哲郎 次知かお 面談員
- 7かじさち受けし可。ご利用下さい。

なるがも日記

No.1083



1ヶ月に及ぶ、二月定期県

議会が21日に閉会しました。

白内障の手術などで延びのびに

なっていた改選後の初本会議質

問に立ちました。県教委のハラ

スメント対策、在宅介護、生活へ

の移動用リフトの普及、そして高

知の港をアメリカ軍を支援のために

武器、弾薬を運ぶための利用し

やす、港にする「特定利用港着し

の問題を質しました。

3月16日が孫のつたの誕生日

でした。一息ついたのでお祝

会います。